

市議会 SINCE 2011

3期目に挑戦

相原かずゆき

今日から明日へ
着実に政策実現

自己評価編

市議会議員 相原かずゆき 47歳

連絡先

住所：習志野市鷺沼1-11-14

電話：090-2478-7979

メール：aihara1971@gmail.com



次世代に輝く習志野を継承するために、

私が2015年の選挙公約として掲げた

5点の事業化の推進について自己評価表を作成しました。

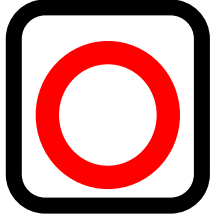
① 再生

東日本大震災からの災害復旧・復興の促進。

●復興に向けた液状化対策事業の推進。

復興事業として取り組んできた「公共施設と宅地の一体的な液状化対策」は地域住民との合意形成に至らなかったため実現しなかった。しかし「液状化等被害住宅再建支援制度」の積極的な周知活動や、震災により移動した境界標準の復元を目的とした「地籍調査」の実施をしてきた。

自己評価



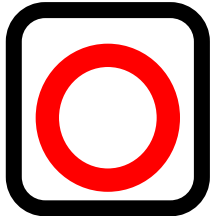
② 共生

鷺沼地区の調整区域 環境整備の推進。

●鷺沼地区の将来像を地域の目線で推進。

農地地権者の方々が土地区画整理事業に対して、大変高い関心を示されていると市は認識している。また、スピード感を持った取り組みが求められていると認識しているため、本年4月より行政は、都市環境部内に新しく区画整理課を設置し人的拡充と、予算を拡充して事業の推進を図ろうとしている。

自己評価



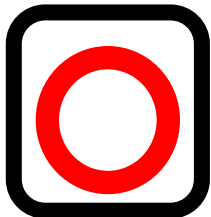
③ 活気

JR津田沼駅 南北駅前 環境整備の推進。

●習志野市の表玄関の利便性の向上の推進。

駅前のバリアフリー化や路上喫煙防止は、もちろんのこと、モリシア・習志野文化ホール・津田沼公園・バスロータリーなどを面的に整備するため、本年4月より行政は、都市環境部内に都市再生課の設置が決定。私はこども園が駅前にできれば、共働き世帯の働きやすさにつながると確信している。

自己評価



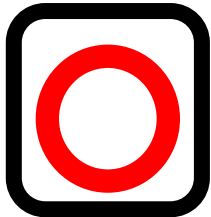
④ 元気

がん検診受診率向上のための政策推進。

●早期発見・早期治療を目指し予防保全の推進。

平成25年度から子宮がん集団検診において検診車に乗る間の子ども預かりをし、子育て世代が受診しやすいようにした。平成27年度の「がん検診のお知らせ」より、世帯通知から世帯連名通知に変更。胃がんリスク検診開始(40~80歳、5歳刻み)また、がん複合検診の申込に電子申請を取り入れた。

自己評価



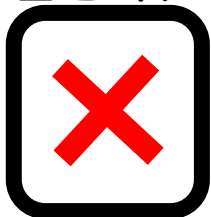
⑤ 輝き

市民の生活に沿った用途地域見直しを推進。

●経年変化に対応するまちづくりの推進。

第一種低層住居専用地域では、一般的なコンビニのような店舗は建築することができないが、将来における高齢者支援策充実させることは、今後、益々重要な課題となることが予想されるところがあり、用途地域の変更ばかりでなく、多角的に検討することが必要であるという回答にとどまった。

自己評価



相原かずゆき ホームページはこちら

<http://aihara1002.com/>

